

【方向性2】 環境への負荷を少なくし資源循環型社会をつくる ～“もったいない”がないまち～

具体目標	行動	取組例
1. あらゆる手段で、二酸化炭素の排出量を抑える	①みんなが参加しやすい省エネを進める	<ul style="list-style-type: none"> ●照明のLED化を推進する ●ゼロ・エネルギー・ハウス、ゼロ・エネルギー・ビルの導入を進める ●クールシェア・ウォームシェアできる地域の居場所を用意する（地域で管理するコミュニティスペース） ・ゼロ・エネルギー・ハウスへの取組企業が分かる仕組みをつくる ・省エネ家電への買い替えを促進する ・家庭での省エネへの取組を促進する ・断熱性能等の高い（かなざわ向け）賃貸住宅への入居を促進する
	②再生可能エネルギーの導入を進める	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光、風力、太陽熱、地中熱、バイオマス、小水力などを個人が選びやすいようする ●公共施設や防災拠点等における再生可能エネルギー設備の導入を進める ・豊富な地下水や森林資源を活用した地中熱やバイオマスの活用を推進する ・廃食油を回収する仕組みを構築し、ごみ収集車やディーゼルエンジンに活用する ・マンションの住民で出資して屋上太陽光＋蓄電池を設置する
	③人と環境にやさしい交通手段を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ●通勤や業務や私事で、バスや電車に乗る日を増やす（再掲） ・自転車・高齢者カート・キックボードのレーンを整備する（再掲） ・まちなかに駐輪場やサイクルスタンドを増やす（再掲）
2. 環境負荷の少ない「つくる・運ぶ・売る・買う・使う・捨てる」にシフトする	①環境負荷の少ない作り方をあたりまえにする	<ul style="list-style-type: none"> ●企業が環境保全に役立つ資材調達や製造工程などを知って取り入れる ●環境負荷の少ないものづくりやサービスを進める企業を評価する仕組みをつくる ・事業者の共同物流システムを構築する ・アップサイクルを普及させる ・安定生産量実現のための地元生産者組合をつくる ・環境ISOを推進する
	②地元農水産物を利用するとともにフェアトレードに親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ●地野菜や規格外農水産物を利用したり買ったりできる場を増やす ●学校給食に使用する地元農水産物の比率を高める ●フェアトレードについて知る機会を増やす ・環境に配慮した資源循環型農林業・水産業のしくみをつくる（金沢独自の認証制度など） ・地野菜のシードバンクや、温暖化対応品種の開発を進める ・規格外野菜などの付加価値化をすすめる ・地元生産者と流通者、販売者の出会いの場をつくる
	③地域の自然を活用する	<ul style="list-style-type: none"> ●林地残材の木質ペレット化や、伐採竹の製品利用、公園整備や除草などで出る植物資材のバイオマス利用を促進する（森林環境税を活用して林地残材の運搬・利活用の補助を行う等） ・金沢産の木材を使った住宅を普及させる
	④環境にやさしい消費行動をあたりまえにする	<ul style="list-style-type: none"> ●ばら売り、量り売りするお店を増やす ●給水スポットを増やし、マイボトル利用者を増やす ・エシカル消費や環境に配慮する消費者（グリーンコンシューマー）を育成する ・包装容器デポジット制度をつくる

【方向性2】 環境への負荷を少なくし資源循環型社会をつくる ～“もったいない”がないまち～

具体目標	行動	取組例
2. 環境負荷の少ない「つくる・運ぶ・売る・買う・使う・捨てる」にシフトする	⑤プラスチックを削減する	<ul style="list-style-type: none"> ● 食器リユースのしくみを構築し、イベントでの使い捨てプラスチック食器を削減する ● 公共施設・量販店などの使い捨て傘袋をなくし、脱水機の設置を普及する ・ ペットボトルのデポジット（返却金）制度のモデル実施をする ・ プラスチックのポイ捨てを許さない仕組みをつくる ・ 洗濯ネットを普及し、衣服の洗濯によって生じる流出マイクロプラスチックを減らす ・ 行楽ごみを持ち帰る
	⑥ごみ削減・資源化の取り組みを進める	<ul style="list-style-type: none"> ● 量販店やデパートと協力して包装（過剰包装や包装プラスチック）を減らす ● 事業者、消費者、行政が一堂に会してごみ削減に関する情報交換する場を定期開催する ・ 商店街・スーパーマーケット・公民館と協力し、資源回収ステーションを整備する ・ ダンボールコンポスト、電気処理機など、生ごみを循環させる道具を普及する ・ 地域の人同士で、ものの循環が生まれる場を増やす
	⑦食品ロスを減らす	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品ロスゼロを目指すホテルや飲食店を増やす ● 食品スーパーや小売店の消費期限が迫った生鮮品を受け取れるフードバンクの仕組みを構築する ● 3010運動を推進する ・ 個人も商店も、必要な分だけ買う、必要な分だけ注文する ・ 不用食品を持ち寄るフードドライブの仕組みを普及する ・ フードシェアリングアプリT A B E T Eを普及する